

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書

平成 29 年 7 月～9 月期

平成 29 年 12 月 31 日

佐 土 原 町 商 工 会

佐土原町商工会中小企業景況調査報告書

平成 29 年 7 月～9 月期

1. 調査要領

【調査対象】

(1) 対象地 佐土原町

(2) 回答企業数 71 企業

【調査対象期間】 平成 29 年 7 月～9 月を対象

【調査月】 平成 29 年 9 月

【調査方法】 佐土原町商工会会員による経営状況に関するアンケート調査

【調査データ産業別構成】

(1) 産業別構成







業種	回答企業数	構成比
サービス業	17	23.9%
卸・小売業	18	25.4%
製造業	16	22.5%
建設業	20	28.2%
合計	71	100.0%

(2) 従業員数別構成

従業員数	回答企業数	構成比
0 人	15	21.1%
1～5 人	41	57.7%
6～10 人	11	15.5%
11～20 人	4	5.6%
21 人以上	0	0.0%
合計	71	100.0%

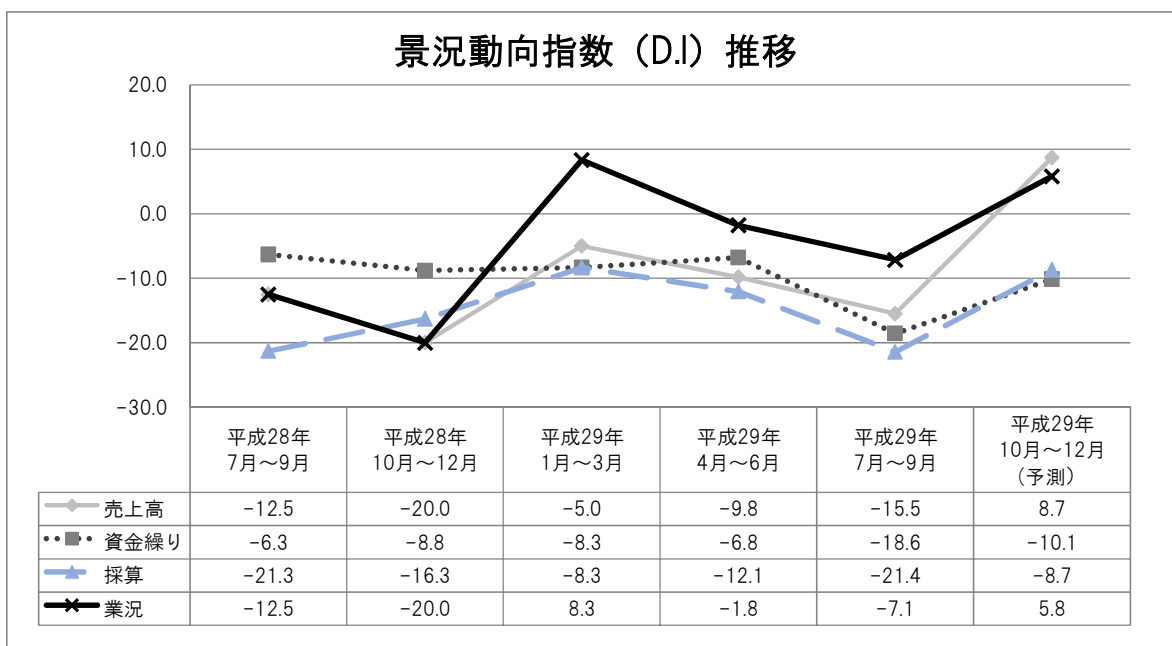
【その他】DI 値と天気マーク

本報告書中の DI 値とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で各調査項目についての増加（好転、上昇）企業割合から、減少（悪化、低下）企業割合を差し引いた値を示すものである。

					
30 ≤ DI (特に好調)	15 ≤ DI < 30 (好調)	0 ≤ DI < 15 (やや好調)	Δ15 ≤ DI < 0 (やや不振)	Δ30 ≤ DI < Δ15 (不振)	DI < Δ30 (きわめて不振)

2. 全業種の景況

①景況感の推移



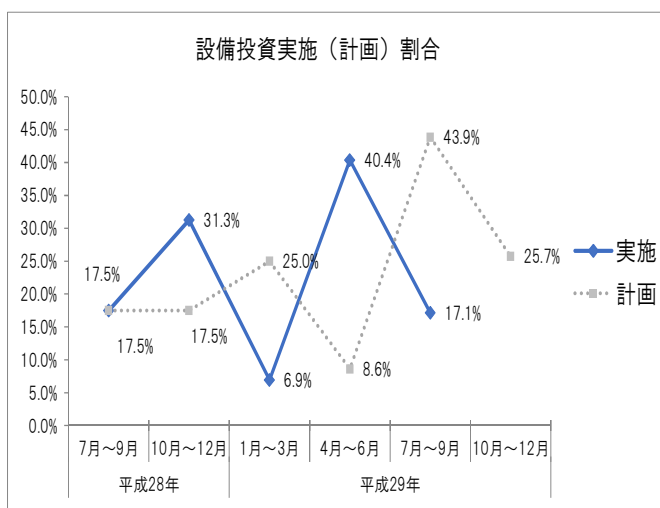
②景況の概況

	平成29年 7月～9月	平成29年 10月～12月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

●今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で▲15.5、資金繰りで▲18.6、採算で▲21.4、業況で▲7.1 となり、売上高はやや悪化、資金繰り、採算は大幅に悪化し、業況はやや厳しさを強めた。

●来期の予測は、売上高で 8.7 (24.2pt 増)、資金繰りで▲10.1(8.4pt 増)、採算で▲8.7(12.7pt 増) 業況で 5.8 (12.9pt 増) と、売上高は極端にマイナスからプラスに転じ、資金繰り、採算は大幅に改善し、業況も大きく厳しさが和らぐ見通し。

③設備投資概況



●今期の設備投資実施割合は 17.1%で、計画を大きく下回った。

投資実施内容は下記の通り (複数回答)。

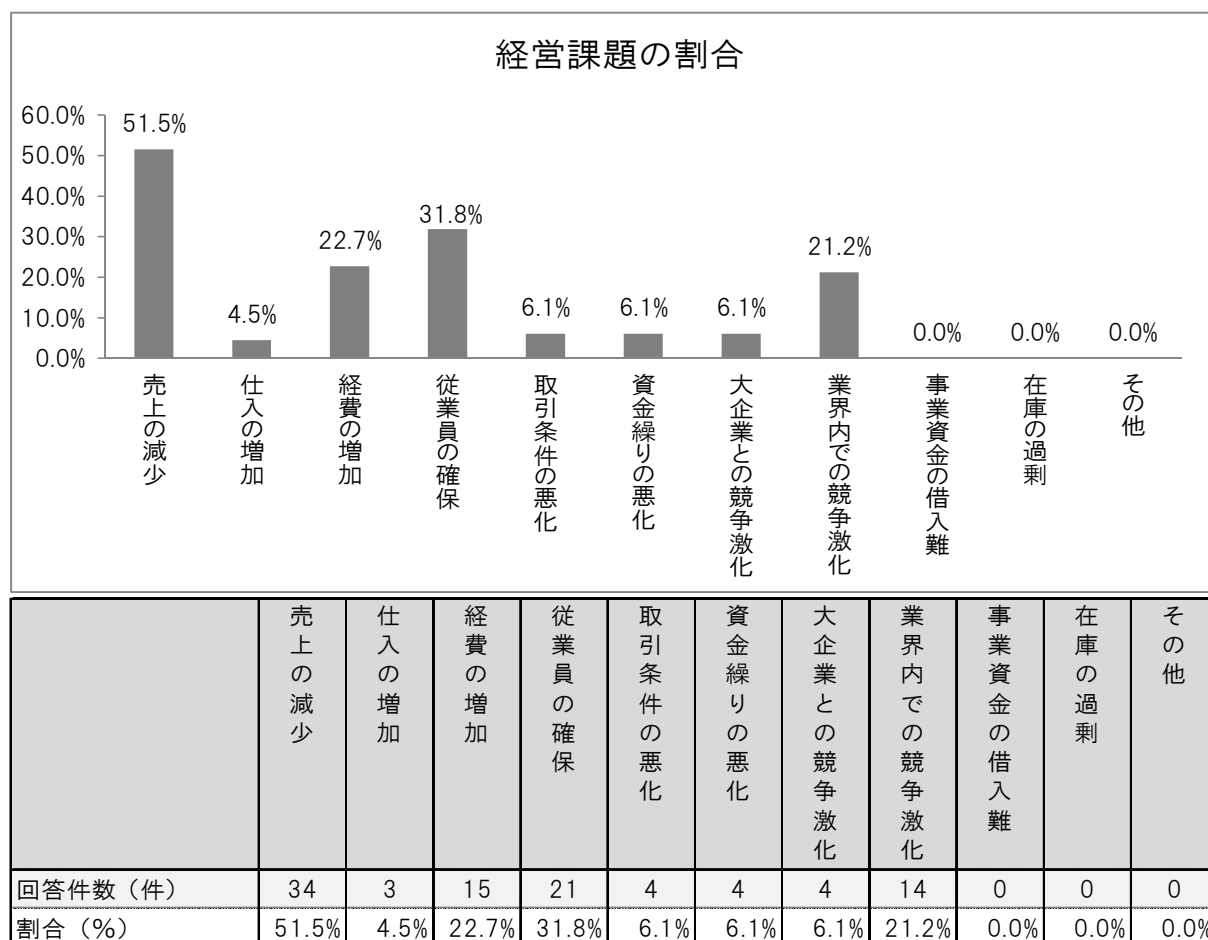
- ・土地(2 件)
- ・建物(5 件)
- ・建設機械(1 件)
- ・車両・運搬具(4 件)
- ・付帯施設(4 件)
- ・OA 機器(1 件)

●来期の設備投資計画割合は 25.7%で、大きく増加する見込み。

投資計画内容は下記の通り (複数回答)。

- ・土地(1 件)
- ・建物(3 件)
- ・建設機械(4 件)
- ・車両・運搬具(5 件)
- ・付帯施設(6 件)
- ・その他(2 件)

④経営課題



●経営課題の上位3位は

- <1位> 「売上の減少」 51.5%
- <2位> 「従業員の確保」 31.8%
- <3位> 「経費の増加」 22.7%

●「売上の減少」が最も多く、およそ半数を占めた。

●今期も概ね前期同様の順位となっており、前期同率2位だった「経費の増加」が3位となった。

⑤全業種概況

平成29年7～9月期の景況感は、売上高はやや悪化し、資金繰り、採算は大きく悪化し、業況はやや厳しさを強めた。

業況については、建設業は前期並の好調感が続き、卸・小売業では大幅に持ち直した。しかし、サービス業と製造業は非常に大きく悪化したため、全体もやや厳しさを強めたものとみられる。

売上高については、建設業では前期並の増加が続いたが、サービス業は前期並の減少幅で推移、卸・小売業では大きく減少、製造業では非常に大きく減少したため、全体も減少幅がやや拡大したとみられる。

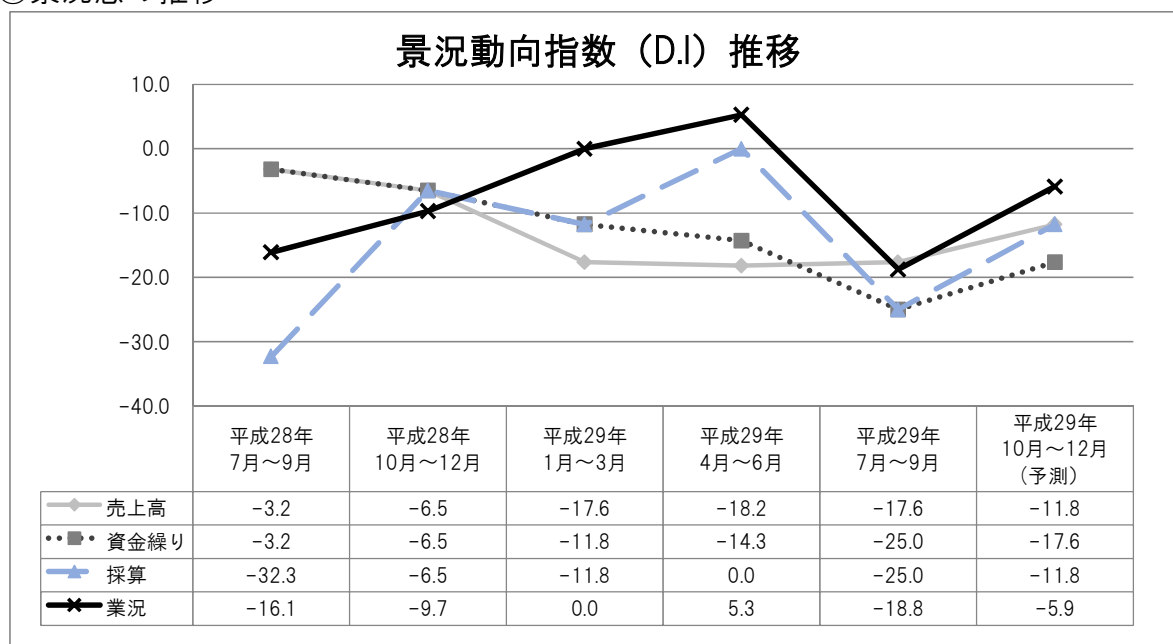
採算については、建設業ではやや好調が強まったが、卸・小売業、製造業で大きく悪化、サービス業も極端に悪化したため、全体でも大きく悪化が強まったとみられる。

資金繰りについては、サービス業、卸・小売業、製造業でそれぞれ大幅に厳しさが増し、建設業はマイナスに転じたため、全体でも極端な厳しさになったと推測される。

宮崎県全体の今期の傾向は、売上高、採算は大きく悪化、資金繰りはやや悪化したものの、業況は大きく改善した。来期の予測は、採算はやや改善する一方、資金繰りは今期並、売上高はやや悪化すると見込まれ、業況は多少厳しさを強めるとみられる。

3. サービス業の景況

①景況感の推移

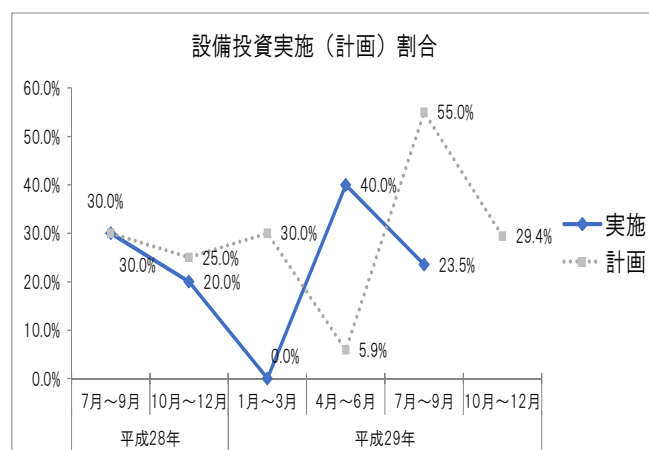


②景況の概況

	平成29年 7月～9月	平成29年 10月～12月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

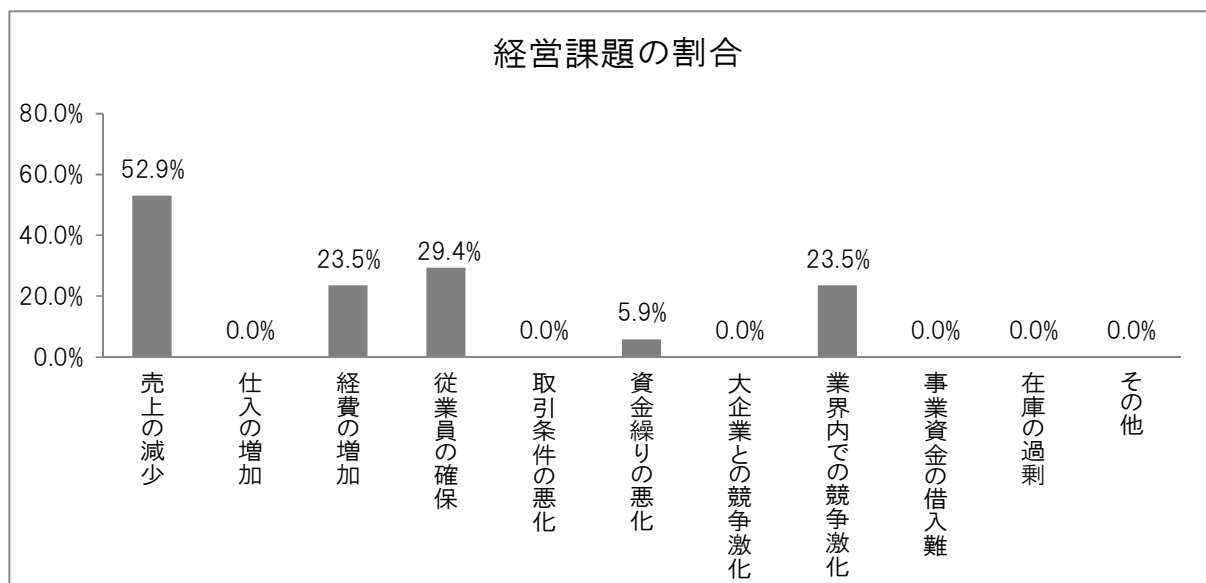
- 今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で▲17.6、資金繰りで▲25.0、採算で▲25.0、業況で▲18.8 となり、売上高は前期並の減少が続き、資金繰りは大幅に厳しさが強まった。また、採算、業況は悪化に転じた。
- 来期の予測は、売上高で▲11.8 (5.9pt 増)、資金繰りで▲17.6 (7.4pt 増)、採算で▲11.8 (13.2pt 増)、業況で▲5.9 (12.9pt 増) と、売上高、資金繰り、採算はいずれも改善する見込み。業況も大きく厳しさが和らぐ見通し。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は 23.5% で、予想を大きく下回った。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
・土地(1件) ・建物(2件)
・付帯施設(2件)
- 来期の設備投資計画割合は 29.4% で、やや増加する見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
・建物(1件) ・車両・運搬具(1件)
・付帯施設(2件) ・その他(1件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	9	0	4	5	0	1	0	4	0	0	0
割合 (%)	52.9%	0.0%	23.5%	29.4%	0.0%	5.9%	0.0%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%

●経営課題の上位3位は

<1位> 「売上の減少」 52.9%

<2位> 「従業員の確保」 29.4%

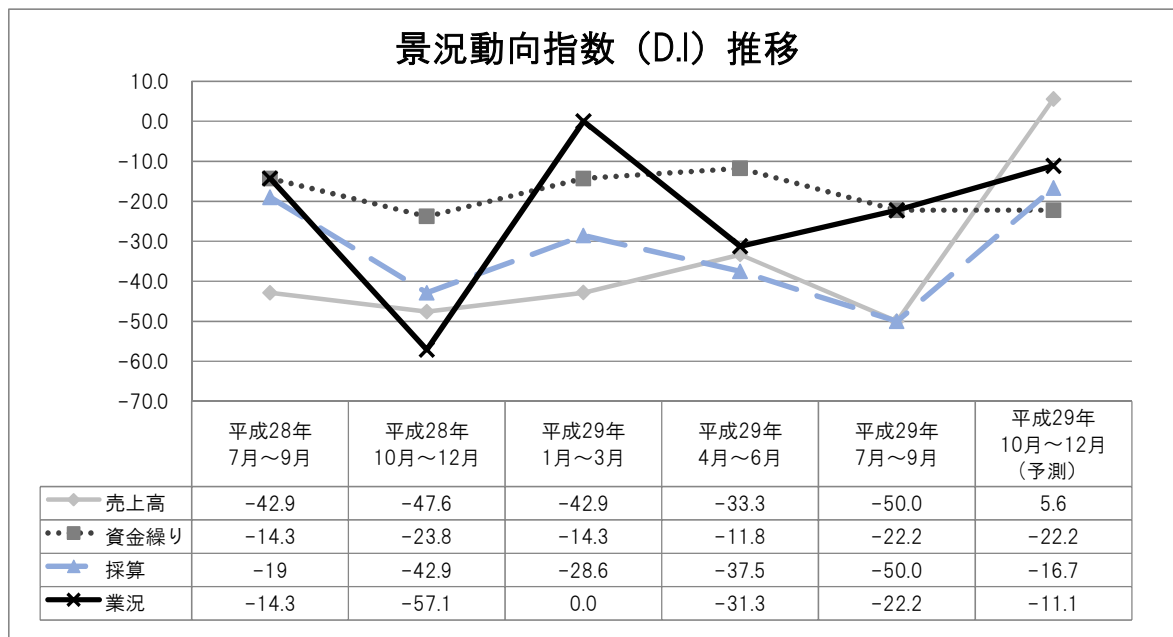
<3位> 「経費の増加」 23.5% ・ 「業界内での競争激化」 23.5%

●「売上の減少」が前期より増加して半数超となり、最多となった。

●前期に比べ「従業員の確保」の占める割合は減少して2位となり、「経費の増加」は前期同様3位となった。

4. 卸・小売業の景況

①景況感の推移

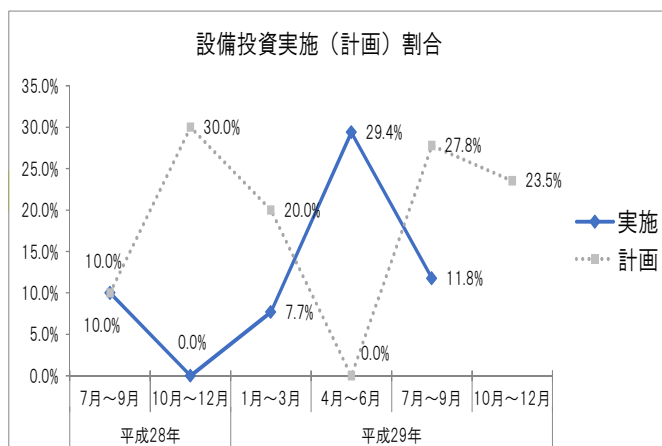


②景況の概況

	平成29年 7月～9月	平成29年 10月～12月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

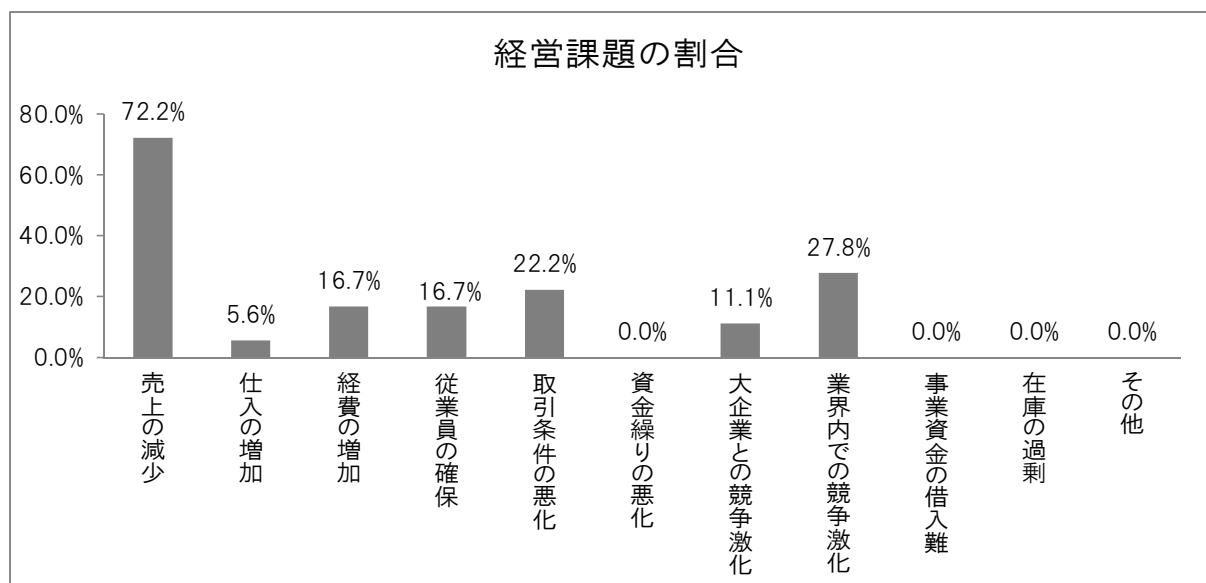
- 今期の景況動向指数 (DI 値) は、売上高で▲50.0、資金繰りで▲22.2、採算で▲50.0、業況で▲22.2 となり、売上高、資金繰り、採算は大幅に悪化した。一方、業況は大幅に改善した。
- 来期の予測は、売上高で 5.6 (55.6pt 増)、資金繰りで▲22.2 (変動なし)、採算で▲16.7 (33.3pt 増)、業況で▲11.1 (11.1pt 増) と、売上高はマイナスからプラスに転じ、資金繰りは今期並、採算は非常に大きく改善する見込み。また、業況は大幅に改善する見通し。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は 11.8% で、予想を大幅に下回った。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
・土地(1 件) ・建物(1 件)
・付帯施設(1 件) ・OA 機器(1 件)
- 来期の設備投資計画割合は 23.5% で、大幅に増加する見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
・建物(1 件) ・建設機械(1 件)
・車両・運搬具(1 件) ・付帯施設(2 件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	13	1	3	3	4	0	2	5	0	0	0
割合 (%)	72.2%	5.6%	16.7%	16.7%	22.2%	0.0%	11.1%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%

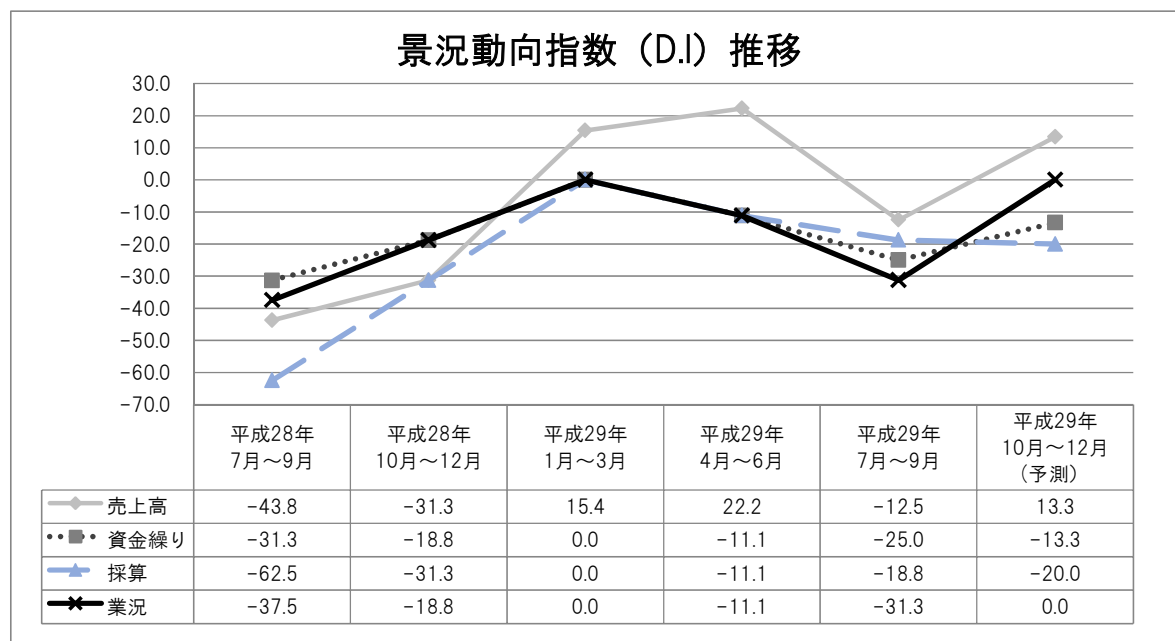
●経営課題の上位3位は

- <1位> 「売上の減少」 72.2%
- <2位> 「業界内での競争激化」 27.8%
- <3位> 「取引条件の悪化」 22.2%

- 「売上の減少」が7割を超え、最多となった。
- 「業界内での競争激化」のほか、「取引条件の悪化」といった取引先との関係に関わる回答が多く見受けられた。

5. 製造業の景況

①景況感の推移

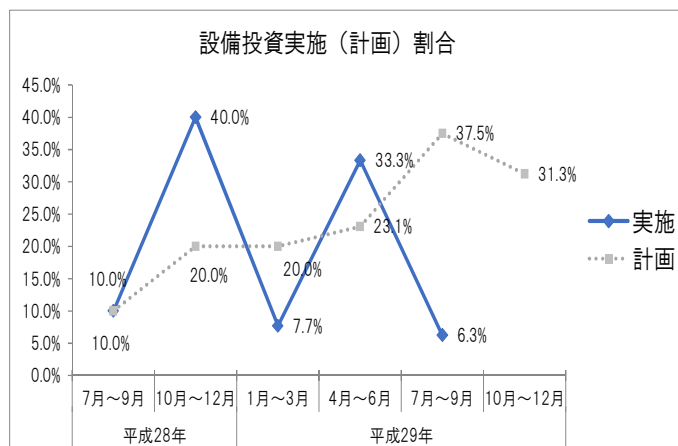


②景況の概況

	平成29年 7月～9月	平成29年 10月～12月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

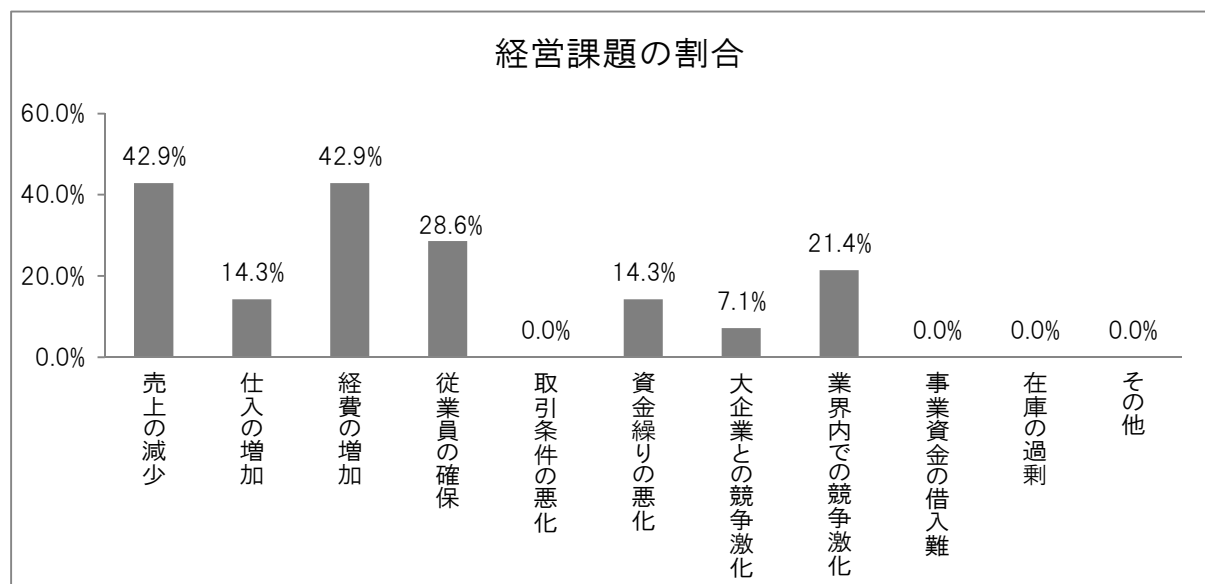
- 今期の景気動向指数 (DI 値) は、売上高で▲12.5、資金繰りで▲25.0、採算で▲18.8、業況で▲31.3 となり、売上高は極端にプラスからマイナスに転じ、資金繰り、採算はともに大幅に悪化した。また、業況も非常に大きく悪化幅が拡大した。
- 来期の予測は、売上高で 13.3 (25.8pt 増)、資金繰りで▲13.3 (11.7pt 増)、採算で▲20.0 (1.3pt 減)、業況で 0.0 (31.3pt 増) となり、売上高は極端にマイナスからプラスに転じ、資金繰りは大幅に改善、採算は今期並の見込み。業況は非常に大きく改善する見通し。

③設備投資概況



- 今期の設備投資実施割合は 6.3% で、予想を大幅に下回った。
投資実施内容は下記の通り (複数回答)。
 - ・建設機械(1 件)
- 来期の設備投資計画割合は 31.3% で、大幅に増加する見込み。
投資計画内容は下記の通り (複数回答)。
 - ・建物(1 件)
 - ・建設機械(2 件)
 - ・付帯施設(2 件)
 - ・その他(1 件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	6	2	6	4	0	2	1	3	0	0	0
割合 (%)	42.9%	14.3%	42.9%	28.6%	0.0%	14.3%	7.1%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%

●経営課題の上位3位は

<1位> 「売上の減少」・「経費の増加」 42.9%

<2位> 「従業員の確保」 28.6%

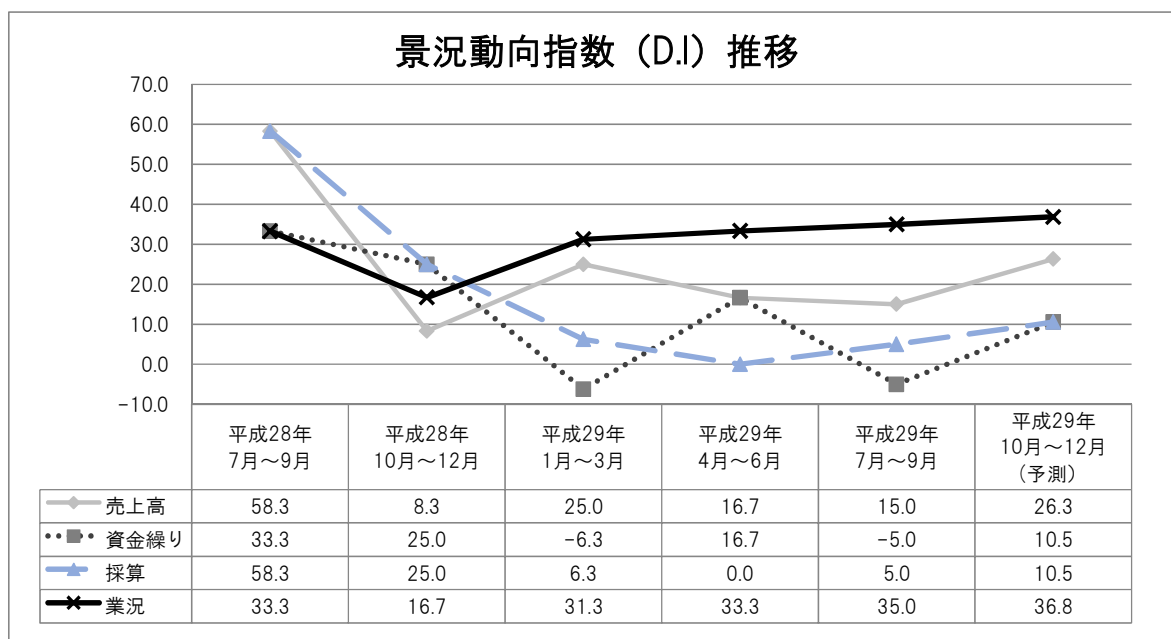
<3位> 「業界内での競争激化」 21.4%

●「売上の減少」及び「経費の増加」が4割で同率1位となり、前期3位の「従業員の確保」は28.6%で2位となった。

●前期と比べ、上位3つの項目は変わらなかったが、新たに「業界内での競争激化」が加わった。

6. 建設業の景況

①景況感の推移



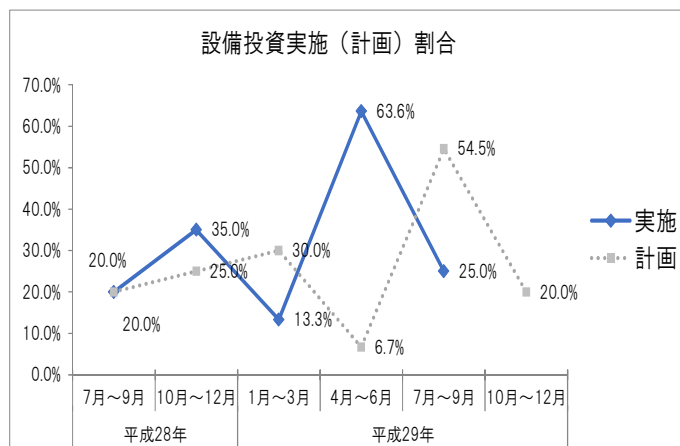
②景況の概況

	平成29年 7月～9月	平成29年 10月～12月	予測傾向
売上高			
資金繰り			
採算			
業況			

● 今期の景況動向指数(DI値)は、売上高で15.0、資金繰りで▲5.0、採算で5.0、業況で35.0となり、売上高は前期並で、採算はやや改善した一方、資金繰りは極端に悪化した。業況は前期並となった。

● 来期の予測は、売上高で26.3(11.3pt増)、資金繰りで10.5(15.5pt増)、採算で10.5(5.5pt増)、業況で36.8(1.8pt増)と、売上高は大きく増加し、採算は増加幅がやや拡大し、資金繰りは容易となる見込み。業況は今期並の見通し。

③設備投資概況



● 今期の設備投資実施割合は25.0%で、計画を大幅に下回った。

投資実施内容は下記の通り(複数回答)。

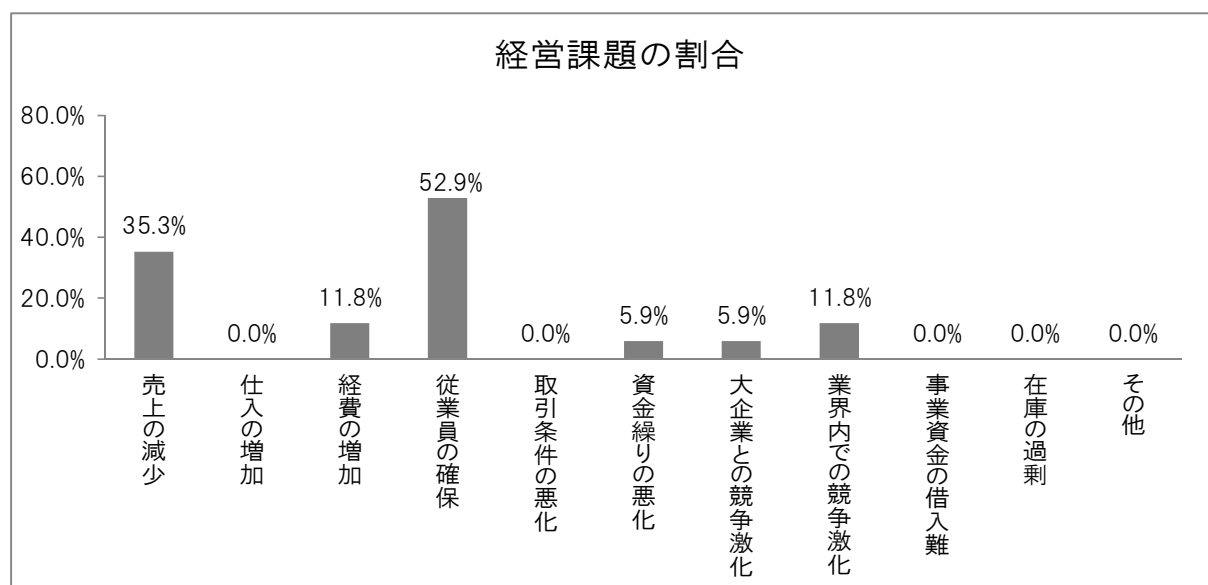
- ・建物(2件)
- ・車両・運搬具(4件)
- ・付帯施設(1件)

● 来期の設備投資計画割合は20.0%で、やや減少する見込み。

投資計画内容は下記の通り(複数回答)。

- ・土地(1件)
- ・建設機械(1件)
- ・車両・運搬具(3件)

④経営課題



	売上の減少	仕入の増加	経費の増加	従業員の確保	取引条件の悪化	資金繰りの悪化	大企業との競争激化	業界内での競争激化	事業資金の借入難	在庫の過剰	その他
回答件数 (件)	6	0	2	9	0	1	1	2	0	0	0
割合 (%)	35.3%	0.0%	11.8%	52.9%	0.0%	5.9%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%

●経営課題の上位3位は

<1位> 「従業員の確保」 52.9%

<2位> 「売上の減少」 35.3%

<3位> 「経費の増加」 ・ 「業界内での競争激化」 11.8%

● 「従業員の確保」が5割を超えて1位となり、前回1位の「売上の減少」は2位となった。

● 前期同様「売上の減少」「経費の増加」といった収支に関する課題が上位に挙がっている。

7. 景況概要のまとめ（業種別）

① サービス業

前期と比較した今期のサービス業において、売上高は前期並の厳しさが続き、資金繰りは前期に続きさらに大幅に厳しさを強めた。採算は前期大きく持ち直したものの今期は極端に悪化に転じた。前期は幾分改善した業況は非常に大きく悪化に転じた。来期は、売上高、資金繰り、採算はそれぞれ大幅に改善する見込みである。業況も大きく厳しさが和らぐ見通しとなっている。

宮崎県内のサービス業の今期の動向は、売上高、採算、資金繰りいずれも悪化し、業況は前期並で推移した。来期の見通しは、採算はやや改善するものの、資金繰り、売上高は大きく悪化となる見込みで、業況も大きく悪化する見通しとなっている。全国的には、今期の売上高、採算、資金繰りはいずれも前期並となり、業況も前期並みとなった。来期の採算は前期並み、業況はやや改善する見通しである。

② 卸・小売業

前期と比較した今期の卸・小売業において、前期大きく持ち直した売上高は、今期は大幅に悪化した。採算は前期に続いて今期はさらに大幅に悪化した。経営課題において「売上の減少」が72.2%と7割を超える割合で挙げられていることから、厳しさが増していることがうかがえる。前期非常に大きく厳しさを強めた業況は、今期は大幅に改善した。来期は、売上高はマイナスからプラスに転じ、資金繰りは今期並、採算は非常に大きく改善する見込みで、業況は大幅に改善する見通しとなっている。

宮崎県内の小売業の今期の動向は、売上高、採算、資金繰りいずれも大きく悪化し、業況も大きく悪化した。来期の見通しは、売上高は大きく悪化するものの、採算、資金繰りはやや改善すると見込まれており、業況は今期同様の悪化幅となる見通しである。全国的には、今期の売上高、採算、資金繰りはいずれも横ばいで、業況は前期並みとなった。来期の採算はやや改善、業況は大きく改善する見通しである。

③ 製造業

前期と比較した今期の製造業において、前期大きく増加幅が拡大した売上高は、今期はプラスからマイナスに転じる結果となった。採算、資金繰りはともに前期からさらに悪化し、業況も非常に大きく悪化幅が拡大した。経営課題において「売上の減少」及び「経費の増加」が同率1位となっていることからこのことがうかがえる。来期は、売上高は極端にマイナスからプラスへ再び増加に転じ、資金繰りは大幅に改善し、採算は今期並の見込み。業況は非常に大きく改善する見通しとなっている。

宮崎県内の製造業の今期の動向は、売上高は大きく悪化する一方、資金繰りは大きく、採算はやや改善がみられ、業況は前期並となった。来期の見通しは、採算はやや悪化し、売上高、資金繰りは今期並みの水準で、業況も今期並み見通しとなっている。全国的には、今期の採算、資金繰りは横ばい、売上高はやや悪化し、業況は前期並みとなった。来期の採算は横ばい、業況は大きく改善すると見込まれている。

④ 建設業

建設業は、売上高は前期並で推移し、採算はやや増加した。一方、前期容易な状況となった資金繰りは、今期は大きくマイナスに転じた。経営課題において「売上の減少」及び「経費の増加」が上位に挙げられていることからこのことがうかがえる。業況は横ばいで推移した。来期は、売上高、採算は大幅に増加し、資金繰りは容易となり、業況は今期並の見通しとなっている。

宮崎県内の建設業の今期の動向は、採算は大きく悪化する一方、完成工事額、資金繰りは幾分改善がみられ、業況は大きく改善した。来期の見通しは、採算は大幅に改善するが、売上高、資金繰りは横ばいで、業況は多少悪化する見通しとなっている。全国的には今期の採算はやや悪化し、売上高、資金繰りは前期並で、業況はやや悪化となった。来期の採算は今期並、業況は若干悪化の見通しとなっている。

【参考データ】 宮崎県商工会連合会（平成29年7月～9月期）

経済産業省 中小企業景況調査（平成29年7月～9月期）

8. 参考：景況に関するアンケート調査票

平成 29 年度経営発達支援事業

経済動向調査(第 2 四半期)

景況に関するアンケート 調査票

佐土原町商工会

佐土原町商工会では小規模事業者の発展を目的とした経営発達支援事業に取り組んでいます。
その一環としてのアンケート調査です。ご協力をお願いします。

事業所名 _____ 業種 _____ 従業員数 _____ 名

1 経営状況について

問 1. 今期（7 月～9 月）の経営状況は、前年同期と比較してどうですか？

また、来期（10 月～12 月）の見通しについてあてはまるものに○を 1 つつけてください。

	今期（今年）の経営状況			来期（来年）の見通し		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少
① 売上高						
② 資金繰り						
③ 採算（経常利益）						
④ 業況（※）						

（※）事業所にとっての景気の状態を記載してください。

2 設備投資について

問 2. 設備投資の実績及び予定について、あてはまるものに○を 1 つつけてください。

（1）今期の設備投資 1. 実施した 2. 実施していない

（2）来期の設備投資 1. 計画あり 2. 計画していない

（3）実施した場合、計画ありの場合の投資内容（あてはまるものに○を 1 つつけてください。）

今期の設備投資				来期の設備投資			
土地	建物	建設機械	車両・運搬具	土地	建物	建設機械	車両・運搬具
付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他

3 経営課題について

問 3. 現在の経営課題について、あてはまるものに○をつけてください。（複数回答可：3 つ以内）

1. 売上の減少 2. 仕入の増加 3. 経費の増加 4. 従業員の確保 5. 取引条件の悪化
6. 資金繰りの悪化 7. 大企業との競争の激化 8. 業界内での競争激化 9. 事業資金の借入難
10. 在庫の過剰 11. その他（ _____ ）

問 4. 商工会に相談したい経営課題、経営支援の希望がございましたら自由にご記入ください

ご協力ありがとうございました

佐土原町商工会
中小企業景況調査報告書
(平成 29 年 7 月～9 月期)

平成 29 年 12 月発行

佐土原町商工会

〒880-0211

宮崎県宮崎市佐土原町下田島 20732-53

■TEL : 0985-73-2567

■FAX : 0985-73-4975